

4. 火災の実態

1 火災の概要

令和元年中の火災は、出火件数1,863件、損害額3,855,441千円、死者数54人、建物焼損床面積47,669㎡、建物焼損表面積5,216㎡、林野焼損面積1,377a、焼損棟数1,431棟、り災世帯数902世帯、り災人員1,928人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、令和元年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数約5.1件、損害額約10,563千円、死者数約0.1人、建物焼損床面積約130.6㎡、建物焼損表面積約14.3㎡、林野焼損面積約3.8a、焼損棟数約3.9棟、り災世帯数約2.5世帯、り災人員約5.3人である。

区 分	令和元年 ①	平成30年 ②	対前年増減数 ③ = ① - ②	増減率 $\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	1,863	1,924	-61	-3.2
建物火災	955	960	-5	-0.5
林野火災	77	86	-9	-10.5
車両火災	142	175	-33	-18.9
船舶火災	2	3	-1	-33.3
航空機火災	0	0	-	-
その他火災	687	700	-13	-1.9
焼損棟数	1,431	1,426	5	0.4
り災世帯数	902	804	98	12.2
り災人員(人)	1,928	1,774	154	8.7
焼損面積				
建物床面積(㎡)	47,669	38,710	8,959	23.1
建物表面積(㎡)	5,216	3,086	2,130	69.0
林野(a)	1,377	342	1,035	302.6
損害額(千円)	3,855,441	3,266,907	588,534	18.0
建物火災	3,539,927	2,795,972	743,955	26.6
林野火災	5,975	760	5215	686.2
車両火災	89,577	140,528	-50,951	-36.3
船舶火災	1,032	603	429	71.1
航空機火災	0	0	-	-
その他火災	218,849	328,315	-109,466	-33.3
爆発火災	81	729	-648	-88.9
死者(人)	54	75	-21	-28.0
負傷者(人)	254	298	-44	-14.8

(注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

2 出火件数

(1) 総出火件数は、1,863件で前年と比べて61件減少している。これを火災種別で見ると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
令和元年	1,863件 (100.0%)	955件 (51.3%)	77件 (4.1%)	142件 (7.6%)	2件 (0.1%)	0件 (0.0%)	687件 (36.9%)
平成30年	1,924件 (100.0%)	960件 (49.9%)	86件 (4.5%)	175件 (9.1%)	3件 (0.2%)	0件 (0.0%)	700件 (36.4%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、1月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	310	167	173	180	159	104	93	130	154	118	123	152	1,863

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約2.97件となっている。

3 損害額

火災による損害額は3,855,441円で、前年比588,534千円（18.0%）増加した。また、1日当たりでは約10,563千円（前年 約8,950千円）、1件当たりでは約2,069千円（前年 約1,698千円）となっている。

4 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。例年と比べ、たき火の件数が大きく増加している。

総出火件数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	たき火	火遊び	その他
1,863件 (100.0%)	269件 (14.4%)	180件 (9.7%)	151件 (8.1%)	133件 (7.1%)	26件 (1.4%)	1104件 (59.3)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は54人、負傷者は254人で、前年に比べて死者は21人減少（前年比28.0%減）し、負傷者は44人減少（前年比14.8%減）した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	44 (81.5%)	1 (1.9%)	4 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (9.2%)	54 (100.0%)
負傷者数	217 (85.4%)	3 (1.2%)	8 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (10.2%)	254 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、11月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	9	6	6	6	3	4	2	3	1	1	6	7	54
負傷者数	33	28	27	30	19	9	9	14	17	11	18	39	254

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の7割以上を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	0 0.0%	1 1.8%	4 7.4%	4 7.4%	5 9.3%	7 13.0%	31 57.4%	2 3.7%	54 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、一酸化炭素中毒・窒息及び自殺で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	12 22.2%	9 16.7%	0 0.0%	12 22.2%	21 38.9%	54 100.0%